

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 川辺町

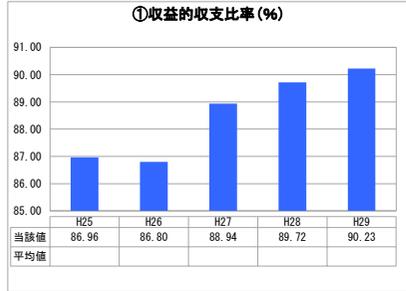
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	96.35	100.00	3,132

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
10,346	41.16	251.36
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,943	6.08	1,635.36

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



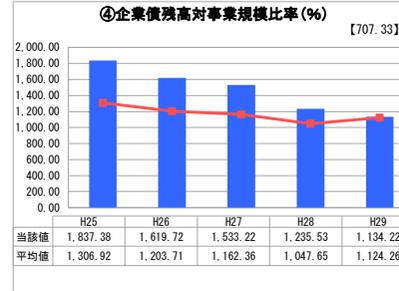
「単年度の収支」



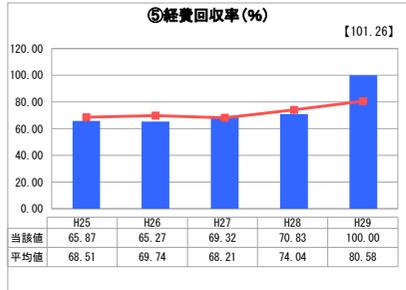
「累積欠損」



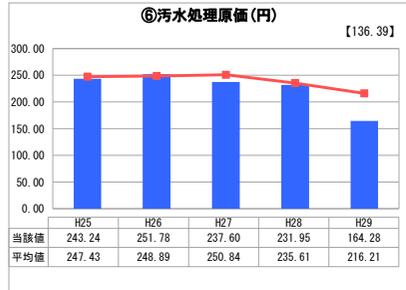
「支払能力」



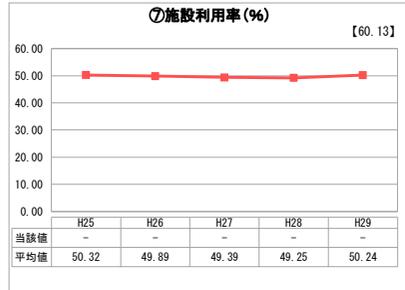
「債務残高」



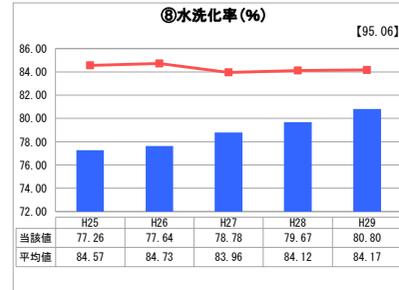
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

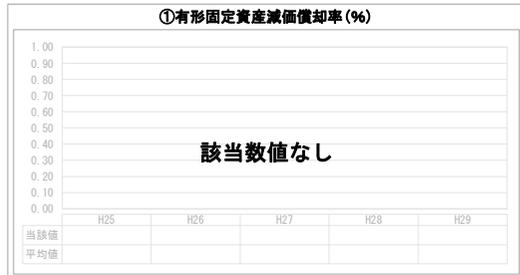


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

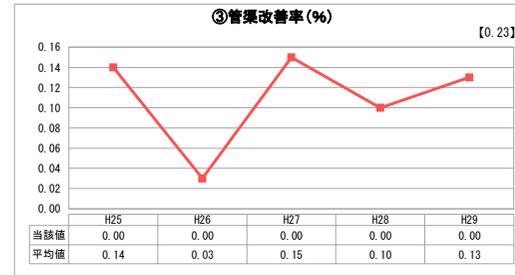
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 平成29年度は前年度までと比べて改善しているが依然100%未満が続いている。使用料収入で維持管理費の財源は賅えているものの、企業債の元利償還金に対してはほぼほとんどを一般会計からの繰入により補っている。これは当面続く見込みである。

④ 類似団体と平均すると依然高い状態が続いているものの、以前と比べると少なくなっている。これは、面整備終了に伴い新発債が減少していることが主な要因である。しかし、今後は改修に係る起債が増加する見込みである。

⑤ 当該年度については、使用料で経費を賅えたものの、今後も異常発見時の早期修繕や、予防保全型の管理採用を進め、修繕費等の維持管理費の削減に努める必要がある。

⑥ 類似団体平均を少し上回っている。

⑧ 毎年少しずつ上昇しているが、類似団体平均を下回っているため、今後もPRをする必要がある。

以上のことから、平成29年度までは類似団体と比較して全体的に低い数値となっているが、今後は業務内容の見直しを行うなど経費の削減を進め経営改善に取り組む必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

③ 類似団体平均を下回っている。

管渠については、平成9年度の供用開始から、もっとも古い管渠で25年を経過しているが、耐用年数は50年であり、直ちに更新の必要に迫られることはない。ただし、平成44年以降は修繕費用や更新費用の大幅な増加が見込まれる。今後は平成23年度に策定した長寿命化計画、平成28年度に策定した汚水処理施設整備構想、平成29年度に策定した下水道ストックマネジメント計画等をもとに、適切な施設更新を進めます。

### 全体総括

公共下水道の経営は、類似団体と比較して全体的に低い数値となっており、「健全・効率的」な経営改善のためには、業務内容の見直しを行う等経費の削減を図る。

現在、正確な経営、資産状況の把握のために、公営企業法による会計制度の導入に向け準備を進めている。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。